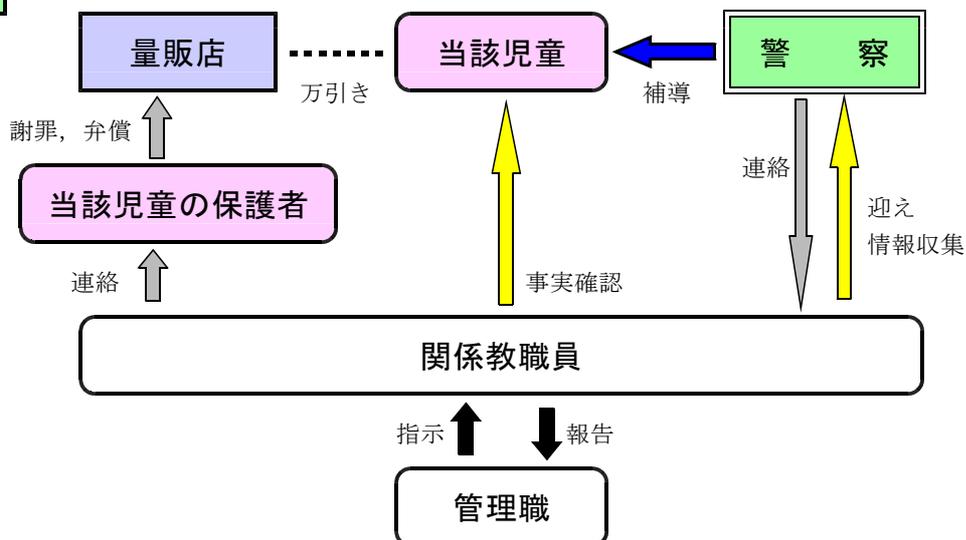


## 7 窃盗

### 【 具体的事例 】

「5年生の女子児童3人が、量販店で万引きをし、警察で補導したが、保護者に連絡が取れないので、学校が警察に来て欲しい。」と警察署から電話があった。

### 初期の対応



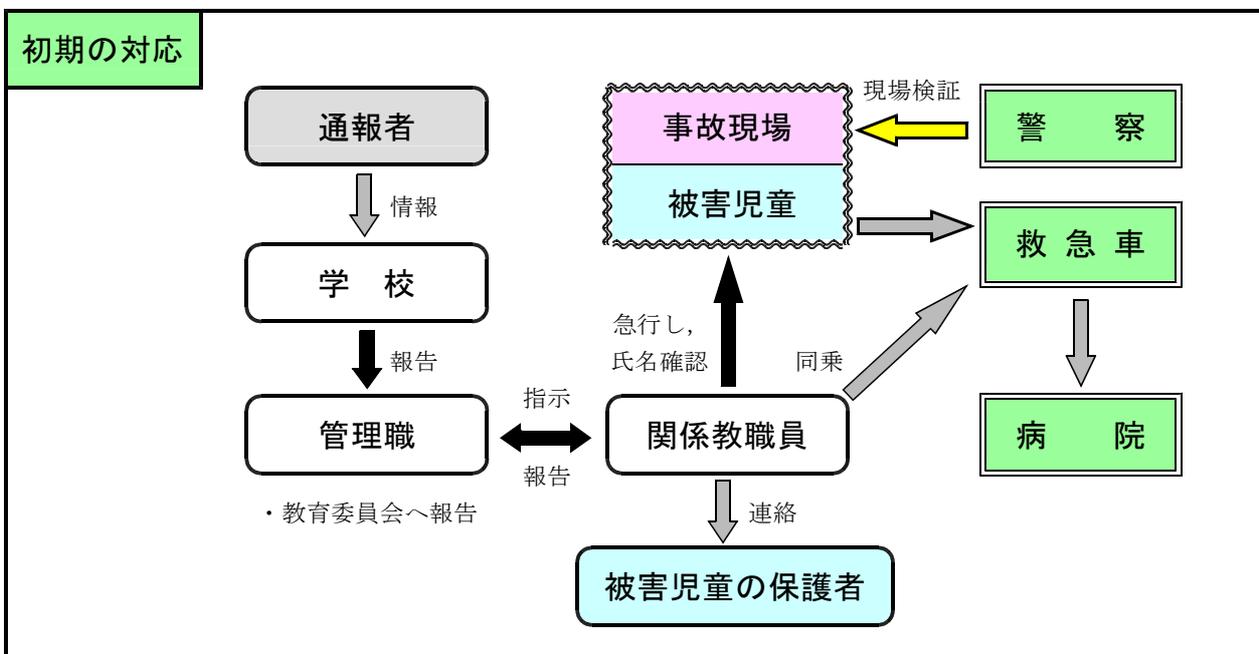
### 初期の対応の留意事項

- 学校としての対応
  - ・ 複数の教員で、警察へ直ちに行く。
  - ・ 保護者へ連絡が取れるまで、繰り返し電話を行う。
  - ・ 警察署で可能な限りの情報収集に努める。
- 当該児童への対応
  - ・ 保護者に連絡が取れない場合は、学校に連れ帰る。(児童だけで帰宅させない)
  - ・ 落ち着かせた状態で、**複数の教員**により話を十分聞く。
  - ・ 万引きは犯罪行為であり、絶対に許されない行為であることを理解させる。
- 当該児童の保護者への対応
  - ・ 来校を依頼し、児童を迎えに来てもらい、顔を合わせて事情説明をする。(複数対応、電話では済ませない。)
  - ・ 学校の指導方針を説明し、協力依頼を行うとともに、家庭での指導について話し合う。
  - ・ 謝罪や弁償等、今後のことについて相談に乗る。

## 8 交通事故

### 【 具体的事例 】

外部の方から、「そちらの学校の児童と思われる下校途中の子どもが自動車に接触し、救急車を呼んだところである」との電話が入った。事故の場所を聞くことはできた。



### 初期の対応の留意事項

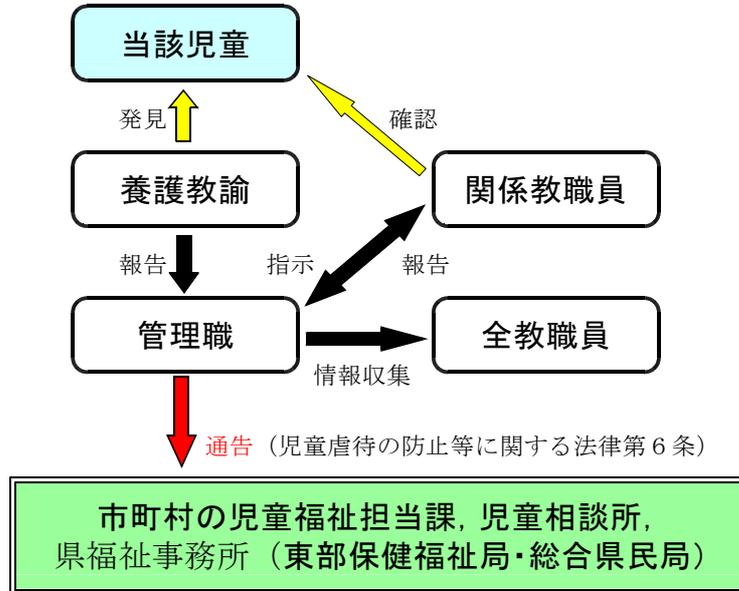
- 学校としての対応
  - ・ 複数の教員で、事故の現場に直ちに行く。
  - ・ 被害児童の確認を行う。
  - ・ 警察への通報ができていない場合は、警察へ交通事故の連絡をする。
  - ・ 保護者へ連絡を取る。
  - ・ 保護者が間に合わない場合は、教員の1人は救急車に同乗し、病院まで付き添う。
  - ・ 治療が終わるまで待機し、定期的に学校に連絡する。
- 被害児童への対応
  - ・ 治療を優先し、むやみに話しかけたりしない。
- 被害児童の保護者への対応
  - ・ 事故があったことを知らせる。
  - ・ 搬送先の病院を知らせる。
- その他
  - ・ 全校児童への交通安全指導を計画する。

## 9 児童虐待

### 【 具体的事例 】

養護教諭が、体調不良を訴えてきた児童の体に、いくつもの殴られたりつねられたりされたようなあざがあるのを発見した。児童にどうしたのか聞いたが、答えなかった。

### 初期の対応



### 初期の対応の留意事項

\*「とくしま子どもの虐待防止ハンドブック」(平成17年3月発行)を参考にする

#### ○ 学校としての対応

- ・ 複数の教員で、児童のあざを確認する。
- ・ 可能であれば、児童から理由を聞く。(必ずしも事実確認をする必要はない)
- ・ いじめによる暴力行為の可能性はないか、家庭状況はどうか等の情報収集に努める。
- ・ 疑わしい場合は通告する方向で、学校の方針を決める。
- ・ 関係機関に通告する。(児童虐待の防止等に関する法律第6条)
- ・ 関係機関との連携を密にする。
- ・ 時系列で、詳細な記録を残す。

#### ○ 当該児童へ接する際の留意事項

- ・ 様子を注意深く見守る。
- ・ 帰宅を拒否したりする場合は、安全な場所(関係機関)があることを教え、安心させる。
- ・ 傷やあざの程度によっては、医療機関で受診させたり、本人の了解を得て写真を撮影する。
- ・ 兄弟姉妹が在籍する場合は、その状況も確認する。
- ・ 学校は相談にのってくれる安心できる存在であることをていねいに説明する。

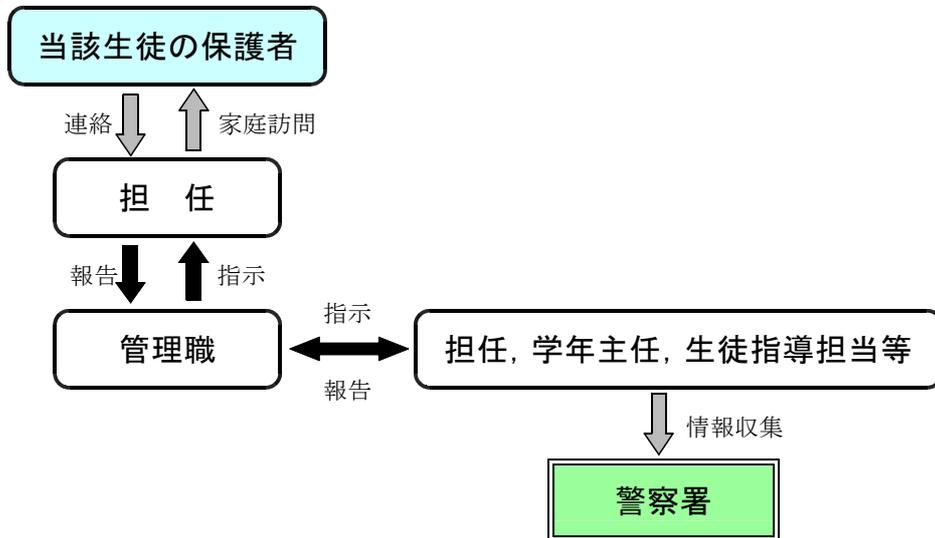
※ 具体的事例は身体的虐待の場合を記載しているが、児童虐待は他に、性的虐待、ネグレクト(養育の拒否・保護の怠慢)、心理的虐待に分類される。

## 10 逮捕事案

### 【 具体的事例 】

保護者から、傷害と恐喝で子どもが警察に逮捕されたとの連絡が、担任にあった。

#### 初期の対応



#### 初期の対応の留意事項

- 学校としての対応
  - ・ 複数の教員で、直ちに、警察署に行く。
  - ・ 可能な範囲で、情報を収集する。  
(捜査中の場合は、情報が入手できないこともある)
  - ・ 生徒の身柄の拘留期間や、その後の処置などを聞く。
  - ・ 生徒への指導に関して結論を急がず、状況を見守る。
- 当該生徒の保護者への対応
  - ・ 家庭訪問を行い、連携を密にするように依頼する。  
(複数対応、電話では済ませない。)
- その他
  - ・ 職員会議で、職員の共通理解を図り、危機管理の対応を確認する。
  - ・ 報道機関への対応窓口の一本化を図る。
  - ・ 今後の生徒への指導方法や指導内容について、十分に時間をかけ検討する。